

日々想ふ

次のような続編を書くのではないかと考えています。

「住まいは人なり」… 最近の住まいを見れば、おおよそ、その家の主は不在か不明と筆家の吉田兼好が「つれづれなるままに」書いた「徒然草」の中で、次のようなことを言っている。

「住まいを見れば、おおよその意識は、土地を預貯金や株式などに比べて有利な資産と思う人の割合が年々低下している。」

その表の裏のところが、空き地の増加であり「所有者不明土地」の増加でもある。

こんな調査結果がある。

- ・地籍調査をもとに推計した全国の土地所有者不明率は約20%で、九州の面積とほぼ等しい。
- ・最後に不動産登記されてから50年以上放置されている登記簿は全体の約20%にも及ぶ。
- ・所有者不明化が危惧される相続未登記農地は、全農地面積の約20%に上る。

特に、地方で相続登記されていない土地が多く、その理由は、①遠方居住で管理が困難なこと。②土地に対する所有意欲が低下していること。③相続を排除した跡地(空き地)

地域の不動産の価値を落としていく。空き家が社会問題とされているが、主(あるじ)の現れる見込みのない空き家は、空き地に至るまでの過程であり、問題の終着点は空き地である。

既に地域内には、相続により取得された空き家を売却した跡地(空き地)が、スポンジの小さな穴のようにたくさん発生している。

プランターやベンチを置いてポケットパーク(小公園)のように活用すれば、地域の価値を落とさずにすむかもしれないが、そのまま放置されると雑草が繁茂したり、ごみのポイ捨て場になってしまうのが心配だ。

鈴木茂基



そこで、不動産の資産価値を守るためのステップの第一歩として、先ず「自分の不動産を知る」ためのサポートを始めた。

ワンストップ(一つの場所)で幅広い不動産の相談ができるような窓口を用意し、いろいろな話を聞いてみると、次のような人がたくさんいた。

- ・不動産登記簿や公図を見たことのない人
- ・相続した土地がどこにあるのか分からない人
- ・土地を売買する時や利用する場合の法規制を知らない人
- ・固定資産税のことをよく知らないまま税金を納めている人
- ・次のステップ(土地の管理・活用・処分等)に進む

不動産の資産価値を守るために、所有者不明土地にしないためのサポート

そこで、不動産の資産価値を守るためのステップの第一歩として、先ず「自分の不動産を知る」ためのサポートを始めた。

ワンストップ(一つの場所)で幅広い不動産の相談ができるような窓口を用意し、いろいろな話を聞いてみると、次のような人がたくさんいた。

- ・不動産登記簿や公図を見たことのない人
- ・相続した土地がどこにあるのか分からない人
- ・土地を売買する時や利用する場合の法規制を知らない人
- ・固定資産税のことをよく知らないまま税金を納めている人
- ・次のステップ(土地の管理・活用・処分等)に進む

津岳風会が吟詠発表大会

見事な「構成吟舞」披露



「詩吟を通して質実剛健の気風を育てよう」吟詠発表大会を津市と、津岳風会(高山岳一身田上津部田の県総合文化センター)で催した。午前中の競吟の部では、独吟、合吟、連吟の部に別れ、140人が朗々と美声を会場いっぱいに響かせた。午後から

大会の見せ場の一つ構成吟舞では、「月」をテーマにした10詩を組み合わせて、吟詩舞の奥深い世界を広げた。来場した約300人が「中秋の月」(蘇軾)、「月夜」(杜甫)、「月下独酌」(李白)、「月よみの」(良寛)などの演目に浸った。

会員吟詠があり、32支部から参加した会員が吟89番組を披露した。式典では来賓の青木謙順顧問から祝辞が贈られた後、許証伝達が行われた。

宮部壮貴さんと藤本友梨さん 言葉の壁を乗り越え米国の学生と交流



AIU損害保険(株)の社会貢献事業「高校生国際交流プログラム」(7月20日～8月7日)に参加した津市内の高校生2人が12日(火)、津市本庁舎を訪れ、前葉泰幸市長に報告した。

2人は私立高田高等学校から、前葉市長に報告した。

校3年の宮部壮貴さんと私立セントヨゼフ女子学園高等学校2年の藤本友梨さん。それぞれ学校教員が引率し、同席した。2校とともに英語教育に力を入れており、本格化する国際社会の形成に向け、国際感覚あふれる生徒を育成指導している。

同プログラムは、ワシントンD.C.やニューヨークなどで公的機関ほかを視学した後、米国学生との交流が目的。今回で31回目。

前年にオーストラリア留学を果たした宮部さんは、さらに大きな目標をもって参加。さまざまな体験メニューを消化しながら、「将来的にも保ち続けたい良好な人間関係」を成果として持ち帰った。「言葉の壁を感じながらも、以心伝心で理解し合い、深い人間関係を築くことができた」と充実した3週間を振り返った。

男女平等に関心があって参加した藤本さんは、

真珠のように輝く植樹祭

10月8日鳥羽市ドルフィン広場

ミニツアーの参加者募集!!

森林や木を身近に感じてもらい、三重県の森林や林業、森づくり活動について関心をもってもらうと、県、鳥羽市、公益社団法人三重県緑化推進協会などは、10月8日(日)午前10時～午後4

時、鳥羽市鳥羽1丁目のドルフィン広場で、県民参加の植樹祭「真珠のよう」に輝く植樹祭と「三重トヨレットふれあいグリーンキャンペーン」を同時開催する。植樹イベントのほか、鳥羽の森林を満喫できる3つのミニツアーや、3つのミニツアーを

苗木はウバメガシなど、「三重トヨレットふれあいグリーンキャンペーン」の環境で育つ。体験イベントは「マガジンラック作り体験」(無料)10時15分、先着100人。「自然素材を使ったクラフトづくり」(体験料200円)10時15分～14時30分。「タツタ体験」(無料)10時15分、スウェーデン生まれの木を使ったミニスポーツ。

「森の学校」(木下クラフトづくり) (無料)13時。先着40人。植樹参加者のみ。

ミニツアーは3コース。

①「日和山の自然観察」は「森のせんせい」と緒に樹木や自然観察、ネイチャーゲームを行う。サシバ(タカの仲間)の渡り観察もある。

②「離島探検」は環境省志摩自然保護官事務所のアクティブ・レンジャーと緒に志摩島の自然を観察する。(満10歳以上)

③「森と海の関わり」は海の博物館で森と海の関わりについて海草を通じて学ぶ。

参加無料。来場者に



女神のりんと重の木にふれあえる体験イベントなども行う。

さる3つのミニツアーや、3つのミニツアーを

苗木はウバメガシなど、「三重トヨレットふれあいグリーンキャンペーン」の環境で育つ。体験イベントは「マガジンラック作り体験」(無料)10時15分、先着100人。「自然素材を使ったクラフトづくり」(体験料200円)10時15分～14時30分。「タツタ体験」(無料)10時15分、スウェーデン生まれの木を使ったミニスポーツ。

「森の学校」(木下クラフトづくり) (無料)13時。先着40人。植樹参加者のみ。

ミニツアーは3コース。

①「日和山の自然観察」は「森のせんせい」と緒に樹木や自然観察、ネイチャーゲームを行う。サシバ(タカの仲間)の渡り観察もある。

②「離島探検」は環境省志摩自然保護官事務所のアクティブ・レンジャーと緒に志摩島の自然を観察する。(満10歳以上)

③「森と海の関わり」は海の博物館で森と海の関わりについて海草を通じて学ぶ。

参加無料。来場者に

トンプ

行く夏を思わせる。通り道の家々も新聞を取り込んだり、カーテンを開けたら、いつもの姿が心地よい。朝の道を歩くと、トンプを見つけた。トンプを見つけた。トンプを見つけた。

朝の道を歩くと、トンプを見つけた。トンプを見つけた。トンプを見つけた。

朝の道を歩くと、トンプを見つけた。トンプを見つけた。トンプを見つけた。